


⚠ 注意


配線・取り付けに関するご注意

高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。


禁止

本機の通風孔をふさがない

 内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

禁止


コードを破損しない

 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。


禁止

車載用カメラ（リヤビューカメラ）のコードに傷をつけない


 傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因になることがあります。

禁止

車外に取り付けた GPS アンテナや車載用カメラ（リヤビューカメラ）などのコードは、水が浸入しないように車内へ引き込む


 雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない


 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

ナビゲーション本体/カメラブラケット/GPS アンテナなどは、はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける

 取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。ときどき接着や取り付けの状態（ねじがゆるんでいないかなど）を点検してください。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない


 傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

⚠ 注意


ご使用に関するご注意

洗車するときは、車外に取り付けたアンテナなどははずす


 脱落して事故やけがの原因になります。自動洗車機（高圧水）による洗車は絶対におやめください。

禁止

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する


 ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になることがあります。

車載用カメラ（リヤビューカメラ）を取り付けたときは、自動洗車機（高圧水）による洗車をしない

 カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。また、脱落して事故やけがの原因になります。


禁止

車載用以外には使用しない

 車載用以外（例えばレジャーポートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


禁止

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

 手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特にモニターの開閉や角度調整の際にご注意ください。


禁止

開いたモニターの上に物を置かない

 液晶ディスプレイ部を破損する恐れがあります。また、飲み物の入った容器などを置くと、こぼれて機器にかかり、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

強い衝撃を与えない

 落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

電池は正しく使う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

- 指定以外の電池は、使用しないでください。
- 新・旧電池や違う種類の電池を、混ぜて使用しないでください。
- 充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- 著しく温度が高くなる場所（直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉めきった車や車のトランクの中など）に、電池や電池の入ったリモコンを放置しないでください。
- 電池の⊕と⊖を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- 使い切った電池は、すぐに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

禁止

電池を廃棄する場合は

絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

- 電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- 液が身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。